

工業部会通信

(発行)
相模原商工会議所工業部会

(編集)
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL: 042 (851) 2021
FAX: 042 (851) 3532

工業部会のニュースをお届けしています。
プリントしてご自由にお読み下さい。

青工研が35周年記念式典、盛大に開催

42歳以下の若手経営者で構成される、相模原市青年工業経営研究会（青工研）が創立35周年を迎えた。11日には市立産業会館（中央区中央）で記念式典が開催された。かつて青工研で学んだ経験のある工業部会所属企業の経営者をはじめ、加山俊夫市長、杉岡芳樹会頭なども会場に駆けつけ、祝辞を述べた。

祝賀会には80以上が参加。青工研の2014年度会長に就任した渡邊将文氏（MEMOTEKノス社長）以下の新体制の門出も祝った。式典は、主催者である青工研の渡邊会長のあいさつに始まり、杉岡会頭、加山俊夫市長、甲斐美利工業部会長（向洋技研社長）、尾崎一朗（青工研OB会代表幹事）が参加し、鏡割りも行われた。また、式典の終盤には、相模原市の歴史とともに歩んできた青工研の活動記録などを紹介したVTR、和太鼓演奏なども行われた。

青工研は原則42歳以下の現役経営者、経営者候補で組織される商工会議所の下部組織。現在、会員企業は37社。同会の出身企業は150社にのぼる。

会員企業やOB企業は、強い結束力を持っていて、こういふところがあり、こうした工業団体は、県内でも珍しい存在という。2014年度会長に就任した渡邊氏の任期は1年間。「己を知り、己を超える」をテーマに、「新たな道への挑戦」をスローガンに掲げた。会員企業が青工研での活動を通じ、経営者としての成長や自社の経済的地位の向上につなげることを目標としている。



壇上で紹介された青工研役員（中央左が渡邊会長）



35周年を記念して行われた鏡開き



OBなど会場には80人以上が詰めかけた

来賓80人以上参加 新体制の門出祝う

GNT企業に
会員3社認定
経済産業省

経済産業省はこのほど、国際市場の開拓に取り組む国内企業のうち、いわゆるニッチ市場の分野で高いシェアを持つ100社を「グローバルニッチトップ企業（GNT）100選」として初めて選定。相模原市内からは会員企業3社が選ばれた。

GNTの選考基準は▽世界シェアと利益の両立▽独創性と自立的性▽代替リスクへの対処力などで、外部有識者で構成する選定評価委員会の審議を経て選定した。

選定された会員企業は、サイボポ駆動式プレス機製造のアイダエンジニアリング、コジマ技研工業、日本パッケージ・システムの3社。



和太鼓グループによる演奏も行われた

低炭素社会をめざして星に願いを込めました。

いま東京ガスが目指しているのは、低炭素社会の実現です。その核となる取り組みが「スマートエネルギーネットワーク」。太陽熱・太陽光などの再生可能エネルギーを積極的に取り入れ、それらを天然ガスがバックアップ。不安定な再生可能エネルギーをガスコージェネレーションシステムと組み合わせ、未利用熱も活用しながら、地域で電気や熱を融通し合うことで、最適なエネルギー利用を実現します。

低炭素社会へ。
東京ガスは取り組んでいます。
<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

